

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 県庁舎跡地活用室	鯨臥 富生
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 県庁舎跡地整備の推進	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	53,416

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)</p> <p>長崎市の中心部に位置する県庁舎跡地において、様々な交流の場や憩いの空間を整備し、この地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創出を進めます。なお、早期に賑わいを創出するため、使用可能な箇所から先行して活用を進めていきます。</p>			<p>(取組項目)</p> <p>i) 県庁舎跡地に整備する主要機能及びその詳細な機能並びに規模等の検討 ii) 長崎市の中心部における県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設 iii) 賑わい創出や交流人口の拡大のための機能等の整備と企画運営の仕組みづくり</p>						
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	<p>(進捗状況の分析)</p> <p>令和3年2月に埋蔵文化財調査が完了し、敷地全体の遺構等の状況が確認できたことから、整備する機能の配置や規模等について整理を進め、同年6月に基本構想の骨子案を、9月に構想素案を公表し、県議会での議論やパブリックコメント等における県民からの意見などを踏まえながら、内容の精査を行い、令和4年7月に基本構想をとりまとめた。 また、第二別館跡地については整地等を行うなど利便性向上を図り、令和3年3月に供用を開始した。供用開始後は地域の方々との連携による先行的な賑わいづくりを推進した。 今後は基本構想に基づき、広場等の整備を進め、令和4年度秋ごろを目途にオープンスペースの一部を暫定供用し、早期に賑わいを創出しながら、利用状況等を検証し、建物の規模や配置など、その後の整備の検討を進める。</p>
	目標値①		供用開始	—	—	—	—	供用開始 (R3年度以降)	
	実績値②	—	供用開始					進捗状況	
	達成率 ②/①		—					達成	

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和3年度事業の実施状況 (令和4年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等	
				R2実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率
				R3実績					R3目標	R3実績		
				R4計画	R4目標							
事業実施の根拠法令等				法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象					
事業期間												
所管課(室)名												
取組項目 i ii iii	○	1	跡地活用検討経費	153,170	152,213	39,120	埋蔵文化財調査が令和3年2月に完了し、敷地全体の遺構等の状況が確認できたことから、整備する機能の具体化に関する整理を進め、同年6月に基本構想の骨子案を、同年9月に基本構想の素案を公表し、県議会での議論やパブリックコメントなど関係者からの意見などを踏まえながら、内容の精査を行い、基本構想のとりまとめを進めた。 また、第二別館跡地の整地等を行い、地域の方々と連携して多様な活動に取り組むなど、先行的な賑わいづくりを推進した。	【活動指標】 県議会等への整備進捗状況の報告回数(回)	4	4	100%	●事業の成果 ・県議会での議論やパブリックコメント等における県民からの意見などを踏まえながら、内容の精査を行い、令和4年7月に基本構想をとりまとめた。 ・第二別館跡地などを活用し、地域の方々と連携して多様な活動に取り組んだことなどにより、県庁舎跡地周辺の先行的な賑わい創出や県庁舎跡地の認知度向上とともに、跡地における活動主体の掘り起こしが進んだ。 ●事業群の目標達成への寄与 ・すでに更地となっていた第二別館跡地の整地等を行い、暫定供用を開始しながら、先行的な賑わいづくりを推進し、活用策の検討を深めた。
				53,416	42,916	46,740		【活動指標】 R2.3: 県議会等への基本構想検討状況の報告回数(回)	4	4	100%	
				194,183	45,183	46,086		R4-: 検証する機能の種類(種類)	7			
								【成果指標】 県庁舎跡地活用策に係る基本構想の策定	—	—	—	
								【成果指標】 R3: 段階的な整備の推進	着手	着手	—	
								R4-: 調査・検証結果のとりまとめ	経過報告			
			H21-									
			県庁舎跡地活用室	—	—	—	県、長崎市					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 県庁舎跡地に整備する主要機能及びその詳細な機能並びに規模等の検討</p> <p>ii 長崎市中心部における県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設</p> <p>iii 賑わい創出や交流人口の拡大のための機能等の整備と企画運営の仕組みづくり</p>	<p>●実績の検証及び解決すべき課題 基本構想素案に対する県議会での議論や県民からの意見等を踏まえながら、内容の精査を行い、令和4年7月に県庁舎跡地整備基本構想をとりまとめた。 今後は、基本構想に基づき、整備する建物の規模や配置、運営の仕組みづくり等について検討を深めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 基本構想に基づき、広場等のオープンスペースの整備を先行して進めることにより、早期に賑わいを創出しながら、利用状況等を検証のうえ、整備する建物の規模や配置等について検討する。</p>
---	---	--

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容		令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しがない場合は「—」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 i ii iii	○	1	跡地活用検討経費	基本構想に基づき、広場等の整備を進め、秋ごろを目途にオープンスペースの一部を暫定供用し、早期に賑わいを創出しながら、利用状況等を検証し、建物の規模や配置など、その後の整備の検討を進める。	②⑥	関係者と連携しながら、整備する建物の規模・配置等の検討や運営の仕組みづくりなど、引き続き、基本構想に基づく具体的な取組を推進する。併せて、より効果的な検証を行うための追加整備等を検討する。	改善
			H21-				
			県庁舎跡地活用室				

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点